

～事前調査・分析のまとめ～

1. 調査を行わないリスクとは？

前回まで事例を用いて説明してきたように、特許調査を行わない開発は大きなリスクである。

調査を行わないリスクとしては、（1）重複研究・重複開発が挙げられる。すなわち、先行の研究・開発が存在しているにもかかわらず、同じ研究や開発を行ってしまうリスクである。言い換えれば、やらなくていい投資をしてしまうということになる。

その他のリスクとしては、（2）特徴・優位性が出せる開発対象の特定ができないまま、研究や開発を行ってしまうというリスクである。要は、当てもなく研究や開発を行うというリスクである。

そして、（3）侵害のリスクを背負い続けるというリスクもある。すなわち、ずっと、侵害しているかどうか、不安なまま事業を行うことになる。これでは、自信をもって、自社の商品、製品やサービスを提供できない。

さらに、（4）どのような会社が競合になるか、市場におけるプレーヤーをよく把握せずに、その市場に居る（新規事業では入る）というリスクもある。

2. 調査を行った上の開発の場合は？

一方で、特許調査など必要な知的財産関係の調査を行った上での開発では、上記（1）～（4）のリスクがすべてプラスに転じてくる。

すなわち、（1）重複研究・重複開発を回避して、（2）特徴・優位性が出せる開発対象の特定を行った上で開発が行える。これにより、回収の見通しをもった投資が可能となる。

また、（3）予め侵害リスクを把握することができ、侵害リスクを払拭して、自信を持って売り込みもできる。

さらに、（4）競合他社を予め認識することができ、競合他社を意識した開発戦略が可能となる。

事業承継、相続トラブル、不動産、後見人など終活の場面で何かとお世話になるのが弁護士と司法書士です。

司法書士会のHPによると平成26年3月31日現在…

- ・弁護士数は35,045名
- ・司法書士数21,366名

まさかでしたが司法書士より弁護士の方が13,679名も多いとの表記でした。

右の推移グラフのレンズにはありませんが50年前の昭和38年（1963年）の弁護士数は6,732名で（弁護士白書2008年版）、同じ年の司法書士の人

特許調査による開発の効率化 弁理士 俊之(5)

3. 特許調査による開発の効率化

このように、特許調査を行った上で開発を行うことで、リスクを低減しながら、開発の効率化、そして開発成果の最大限の活用を図ることができる。

すなわち、膨大な特許情報の中から特許調査による必要な情報を取り出し、これを活用することで、今後の企業戦略を策定できる。

4. 最後に

中小企業であれ、大企業であれ、多くの企業は、業務の効率化を図り、コストダウンをしているのに、知財情報を使った開発の効率化をしない手はない。

今こそ、積極的に知財情報を使った開発の効率化にトライされるのが賢明であると思われる。

問題提起

《企業の実態》

- ・業務の効率化している
- ・コストダウンやり尽くしている

もっと知的財産をツールとして活用できるのでは？

ex:開発テーマの選定に、特許情報の分析を活用

- ・重複研究・重複投資のリスクをヘッジ
- ・自社製品の優位性が出せる開発が可能
- ・侵害リスクを払拭／自信を持って売り込み可能

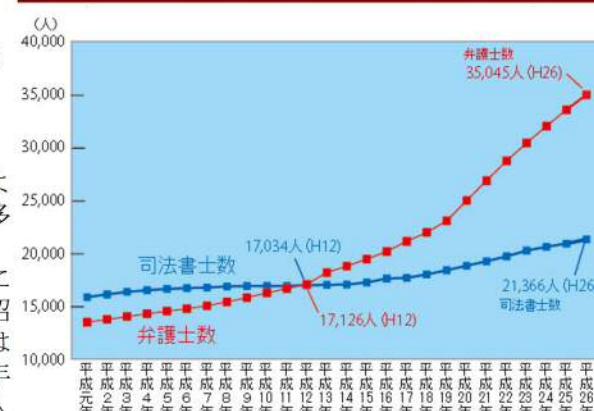
◆プロフィール◆ 酒井俊之(さかいとしゆき)

1976年生。福島県伊達市出身。慶應大学院基礎理工学専攻修士課程修了。03年弁理士試験合格。04年弁理士登録。同年、創成国際特許事務所に入所。08年、福島事務所開設に当たり所長に就任。

地方公共団体や新聞社主催の各種セミナーの講師として活躍する一方、事業モデル『知財制度の活用戦略』を展開。出願から20日で登録査定という早期の権利化モデルを実現。

東北経済産業局特許室『東北地域知財経営定着支援事業』総括委員、東北工業大学非常勤講師など。

気になる数字…21,366人 平成26年の登録司法書士の人数



数は1,1821名（司法書士白書2012年版）、今とは反対に司法書士の方が5,089名も多かつたことになります。

平成12年には殆ど同数でしたが、平成26年までの間に、弁護士を増やすための新司法試験制度によって合格率を上げるような動きとなり、弁護士数は20,236名の増加（2.4倍）、司法書士数は4,604名の増加で1.3倍に止まっています。

法曹人口を5万人規模にする為、年間3,000名の司法試験合格者を出すようにしたのが大きな原因のようだ。

ひとり暮らしの高齢者にちょっとした配慮を

なるほど納得……不動産!!……No. 052

株式会社ありがとう・不動産

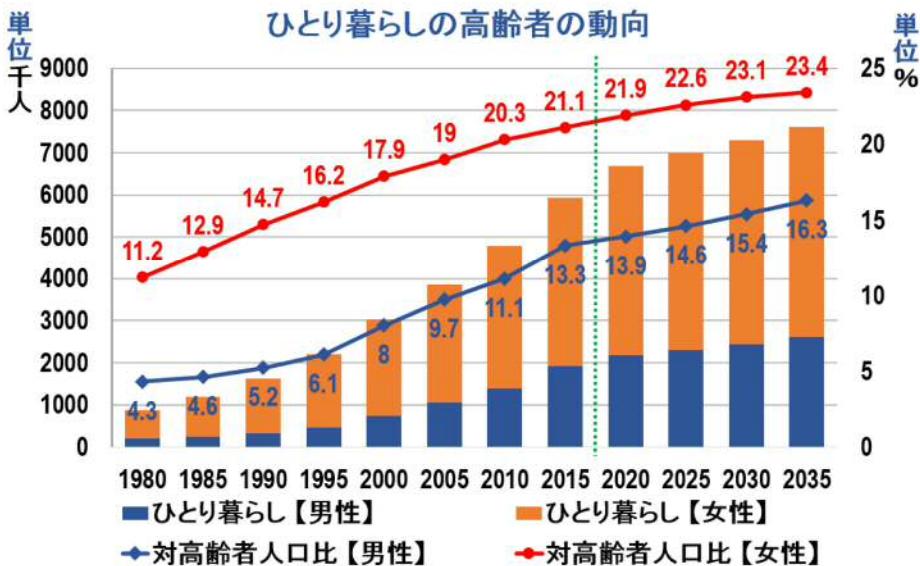
今月は、不動産に関する東京都品川区の新しい取り組みをご紹介します。品川区は2018年度から、ひとり暮らしの高齢者の転居を支援する事業を始めます。この背景にあるのは、高齢者（特にひとり暮らし）の場合、新たに賃貸住宅を契約することが非常に難しい現状です。貸主の立場から考えると、高齢者が住居内で死亡した場合、いわゆる事故物件となり、それ以降の賃料が大きく下がり、次の入居者を見つけること自体難しくなるのは困ります。その高齢者がひとり暮らしだった場合はさらに、ご遺体の発見が遅れたり、遺品の処分に困ったりすることも大きな不安要素となっています。そういう事態をカバーする保険商品もありますが、東京23区のように住宅需要の高い地域の貸主は、高齢者以外の入居者が見つかるだらうと考え、高齢者からの入居申込を受け付けるには至らないようです。そのいっぽう、高齢になると体力も衰え、バリアフリーの1階や小さめの間取りに引っ越したいといったニーズが生まれます。これらの事情を踏まえ、品川区は、緊急時に駆けつける親族などの保証人がいなくても高齢者が転居できる仕組みをつくったのだと思われます。

具体的には、品川区から業務委託された品川区社会

福祉協議会が物件探しや契約の相談に応じたり、入居後の安否確認から死後の家財処分、葬儀の手続きまで一括で対応したりする予定だそうです。ただ、これらの支援を受けるには、高齢者の収入等に一定の制限があります。また、こういった取り組みは、全国でも珍しいもので、品川区外の高齢者は支援を受けることができません。しかし、ひとり暮らしの高齢者は、グラフのように急速に増加中で、今後も増え続けると予測されています。（出典：内閣府 http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/zenbun/s1_2_1.html）

グラフの緑の点線の左側が実績で右側が予測です。このグラフから、いくつかのことが見てとれます。最初に、高齢者のひとり暮らしの割合は、性別を問わず、増加の一途をたどっている点です。これは、家督相続の概念が失われたこと、親と子の生活圏が異なるケースが多いこと、非婚率が上昇していること、施設に入居するにも費用面や順番待ちなどの問題が多いことなど、数多くの原因が考えられます。次に、ひとり暮らしは、男性より女性が多い点です。こちらは、男性が年上の夫婦が多く、また女性のほうが平均寿命が高い傾向が続いていることなどが理由と思われます。ここで問題になるのは、通信技術に疎く情報にアクセスできない、いわゆる情報弱者や行政に支援を求めるなどを苦手とするのは、相対的に男性よりも女性が多いことです。

そこで弊社では、家に関する困りごとを抱えた高齢の方々に対してできることがないか模索していきたいと考えています。行政のように多額の資金があるわけではありませんが、できる範囲で工夫をしたいと考えています。もし、お近くにそういった高齢の方がいらしたら、弊社につないでいただけないでしょうか。よろしくお願いします。



気になる！コトバのあれこれ 省略が過ぎませんか？

『しつくりこない日本語』
北原 保雄 著／小学館 出版

日本語には、『話し言葉』と『書き言葉』の区別があります。この本によると、それらに加えて『打ち言葉』という概念ができつつあるようです。スマートなどでメッセージを『打つ』ときの言葉ということです。

この本から『打ち言葉』の例をいくつかあげてみましょう。A-1. 置きっぱなし、A-2. 脱ぎっぱなし、B. ぶつちやけ話を言えばさあ、C-1. 失恋の話、C-2. 秘密の話、C-3. 素で話す話、D. 清水の舞台から飛び降りる、E. あけましておめでとうございます、F. レンジでチンする、G. スマートフォンで検索する、H. ごきげんよう。お久しぶり。

り。それぞれ何の略が推測できたでしょうか。正直なところ、省略し過ぎて元の状態を想像するのは難しいように思えます。

答えは、次のとおりです。

A-1. 置きっぱなし、A-2. 脱ぎっぱなし、B. ぶつちやけ話を言えばさあ、C-1. 失恋の話、C-2. 秘密の話、C-3. 素で話す話、D. 清水の舞台から飛び降りる、E. あけましておめでとうございます、F. レンジでチンする、G. スマートフォンで検索する、H. ごきげんよう。お久しぶり。

メッセージを『打つ』ときの合理化はとどまるところを知らないようです。



●相続の発生は年齢の順番とは限らない?

子供が健康に育ち、社会人として一人前になるまでは頑張らなければ…と、働き続けてきたのだが、気がついてみれば長男は45歳を過ぎ未だに独身で、「喜寿」になる母と2人暮らし。

母親には夫が遺した都心に300坪の家と先代から引き継いだ数億円の現預金があり、このままの状態で自分が死ぬことになれば、膨大な相続財産で自閉症の長男が苦しむのではないかと気が気では無い日々が続いていた。

しかし、自分が死んだときのために家族信託や財団法人の設立など試行錯誤して決断をする間際に、考えてもいなかった突然の出来事が勃発して頭の中は真っ白になってしまったというのです。

ことある間に、ひとり息子が突然に苦しみだし、急性心不全で亡くなってしまったのです。

一回り年上の夫を見送ったときは、歳の順だからやむを得ないと覚悟を決めていたものの、まさか息子が亡くなるとは、夢にも考えていなかった。

半年間、毎日呆然と過ごす日々でしたが、弁護士や税理士に相談して自分自身の終活を積極的に考えることに切り替え、相続財産が国庫金にならないように、社会に貢献している福祉団体か、夫が生前に関わっていた財團に寄付して、有効に活用してもらえるように弁護士に相談中です。年齢の順に相続が発生するとは限らないこと云うご相談でした。

●相続財産をめぐり…仲良し家族が心の探り合い

相続トラブルは誰もが避けたいのですが、未婚者が多くなった昨今の世相の中では、親の財産だけでなく兄弟姉妹の死亡による相続という事例も考えられる

リスク・カウンセラー 開記
166

のです。

『貧乏人の子だくさん』の家族で親が早くに亡くなり、やがて社会人となり子供同士で力を合わせて苦難を乗り越えた。

幼い妹や弟たちに対して長男・長女は親代わりとなって面倒を見ること幾星霜か…。

婚期を逃した姉たちがようやくホッと出来たのは、末の妹が結婚して子供が出来たと聞いたときだったという。

相続で問題になるのは、財産を受ける相続人の経済状態の格差とひとりひとりの健康状態がどのように異なるかによって、遺産分割の話をするときの様子が大きく変わってくるものです。

親のライオンが仕留めた獲物を、子ライオンが奪い合うようにして時には噛みつく勢いで他の子ライオンを押しのけて肉を頬張る姿は、まさか人間の世界ではあり得ないと思いきや、悲しいかな、人間も金錢が絡むと野生動物の姿に戻ってしまうことが、しばしばあるようです。悲しいけど、そんな現実は実際にあるんですね。

(リスク・カウンセラー 細野孟士)



おじいさんと熊 著/戸渡阿見 たまばな出版



著者の名は実は…深見東州氏です。この本をどうするも買った人の自由です。とはいえ、ヤギのエサには厚すぎるし、焼き芋の焚き火に使うにはそれほど燃えないでしょう。かといって、漬物石にするには軽すぎます。出来れば読んでいただき、明るく前向きな気持ちが湧いてくるなら、作者として、この上なく嬉しく思うものです。(文中より)

一気に読んでしまう心が温まる楽しい本です。

第18回 ホロニックス資産形成塾

おもしろ税ミナール

相続チェックシートで抱えている問題がわかる!

最新の税に関するニュースを解説!

必殺!あなたの相続の悩み晴らします!シリーズ第3弾!

親(被相続人)が貸したお金と借りたお金
相続・返済トラブル解決事例



一般社団法人相続アドバイス俱楽部 主宰
JICA一般社団法人 相続診断協会パートナー

講師 富永徹也氏

◆日 時: 平成30年4月20日(金曜日)
◇14:00~16:00

◆会 場: 文京区民センター 3階 3-C会議室
(文京区本郷4-15-14)

◆参加費: 無料

無料「個別」相談会も開催しております。
個別相談をご希望の方は、事前にお申し込み下さい。
当社のカウンセリングサロンにて、ご相談をお受けいたします。

(事前申し込み制)

◇発行者 株式会社 ホロニックス総研
◇責任者 代表取締役・リスクカウンセラー 細野孟士
◇連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷4-25-8
TEL.03-5684-0021 FAX.03-5684-0031
<http://www.holronics.gr.jp>

【ホロニック】

(英: Holonic) 全体(ホロス)と個(オン)の合成語。
すなわち組織と個人が有機的に結びつき全体も個人も生かすような形態を言う。生物
は個々の組織が自動的に活動すると同時に独自の機能を發揮する一方でそうした個が調
和して全体を構成する (小学館「カタカナ語の事典」より)

おかげさまで30周年

◇発行者 株式会社 ありがとう・不動産

◇連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷4-25-8 7階

TEL.03-5684-1039 FAX.03-5684-0031

info@arigatou-mail.com

<http://www.mrdgold.com/arigatou>